

こころ育てる絵本との出会い

マクちゃん通信

2012 8 - 9 vol. 15

絵本原画展

葉 祥明

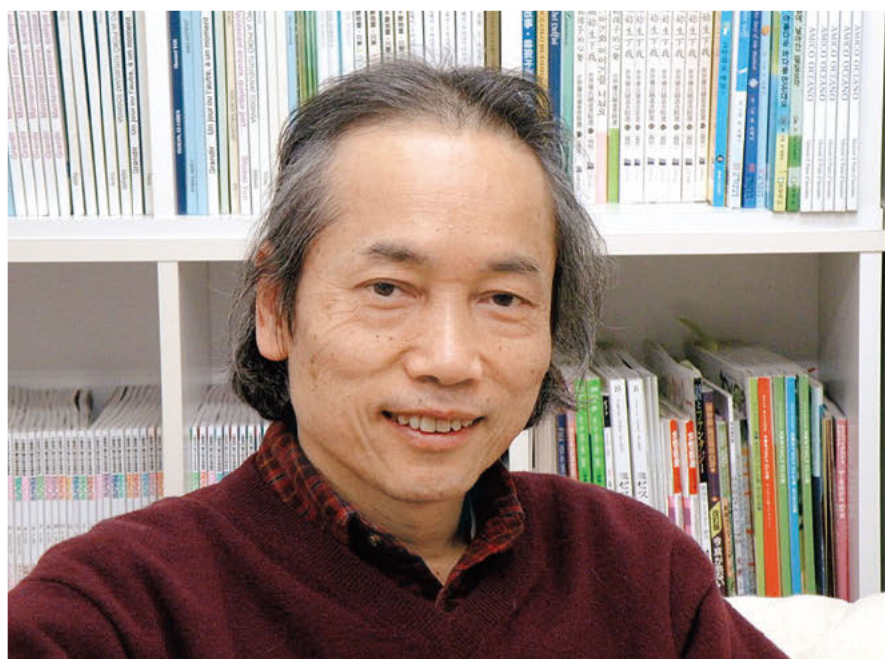
特集

手づくり絵本



よう しょう めい
葉 祥 明

画業40年。心がほつとする風景の中に
深い主題をシンプルに描く葉祥明さん。
この世界の美しさ、人生の深さ、いのちの輝き
そして生きる歓びを伝えたい。



葉 祥明(よう しょうめい)プロフィール

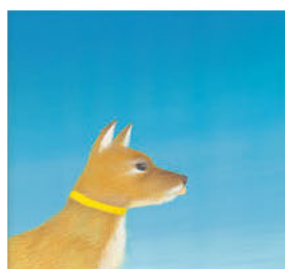
絵本作家・画家・詩人。1946年熊本市生まれ。立教大学経済学部卒業。創作絵本『ぼくのぺんちにしろいとり』(至光社)でデビュー。1990年創作絵本『なぜとひょう』(愛育社)でポーロニャ国際児童図書展グラフィック賞受賞。1991年北鎌倉に葉 祥明美術館開館。2002年故郷の阿蘇に葉 祥明阿蘇高原絵本美術館を開館。『地雷ではなく花をください』(自由国民社)『心に響く声』(愛育社)などをはじめ、人間の心を含めた地球上の様々な問題をテーマに創作活動を続けている。2006年にはリリー・フランキー著『東京タワー』(扶桑社)に自作の詩「母親というものは」が引用された。

<http://www.yohshomei.com>

絵本原画展開催

平成24年8月1日(水)～平成24年9月27日(木)

『虹の橋』(佼成出版社)



『イルカの星』(佼成出版社)



原画
展
示
絵
本

夏のギャラリーでは、自然保護を主題とした『イルカの星』、動物たちとの関わりから命を見つめる『虹の橋』をご紹介します。

葉祥明先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

イラストレーターを目指していたけれど40年前のある時、同じ世代の谷内こうた氏の作品『なつのあさ』（至光社）を見て、文も絵も画家が一人でやる（創作絵本）という分野を知って、絵本作家を職業として目指すことにしました。

画材は何を使っていたのでしょうか？
不透明水彩絵の具です。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

『イルカの星』

僕はもともと、青い色が好きで、1冊まるごとブルーで描ける絵本を作りたいと思っていました。海中、そして皆から愛されているイルカを主人公にすればいい、そして海洋汚染や人間の生き方をイルカが教えてくれる、そんな絵本にしようと考えました。また子ども向けの絵本というと、子どもが描いたようなヘタウマの絵本が多いので、しっかりした絵画性のある絵を子どもたちに見せてあげたいと思いました。当時の僕の色々な思いがあって、生まれた絵本です。そしてこの絵本がきっかけで、あのジャック・マイヨール^{注(1)}と縁ができたのです。

『虹の橋』

ペットを家族と考え、愛する人が増えていきます。しかしそれだけにペットの死は深い悲し

みとなって、ベトロスという心の痛手からなかなか立ち直れないことが起こるようになってきました。いつの頃からか、この『虹の橋』^{注(2)}という先立ったベトともう一度会えるという希望を抱かせる詩が広く知られるようになりました。僕自身も愛するベトとはあちらで会えると固く信じています。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は？

1998年に出版した『風とひょう』^{注(3)}です。ベドウィンの少年が一人何かを求めて砂漠をさ迷う物語で、僕を含め人生を考える全ての人にとっての成長の物語です。砂漠という過酷なシチュエーションで、苦しみ耐えて先へ先へ進む人生の通過儀礼、イニシエーションを描きました。人生は勇気を持って、自分で生き抜かなくてはいいないけれど、必ず誰かがどこかで見守ってくれています。この話では大空のたか、大地のひょうです。この絵本は、ボローニャの国際絵本コンクールで、グラフィック賞を得ました！



『風とひょう』
(愛育社)

絵本をお作りになるときのこだわりは？

しっかり考えられた構図、構成、柔らかいタッチ、きちんとしたデッサン、豊かなイ

メージの世界、そして深い主題をシンプルに描くことです。

絵本を通じてお伝えしたいことは？

この世界の美しさ、人生の深さ、いのちの輝き、そして生きる歓びを伝えたいです。

今後どのような絵本を描いていかれますか？

詩的な絵本！芸術的な絵本！ファンタスティックな絵本！

ご趣味についてお聞かせください。

ファッション、インテリア、トラベル、自然に関する海外の雑誌を眺めること、スクラップすることです。映画を観ること、旅すること、考えることもですね。

好きな言葉を教えてください。

優しさ、綺麗、幸せ、思いやり、静けさ、平安です。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

僕の描く絵、詩は、皆様のためのものです。大いに楽しんで下さい！

葉祥明先生、ありがとうございました！

注(1) ジャック・マイヨール

フランスのフリーダイバーで、映画『グランブルー』の主人公のモデル。イルカを愛し、イルカと人間の共存を訴えた。

注(2) 『虹の橋』(Rainbow Bridge)

作者不詳のまま、インターネット上で世界中の人々に読まれている詩。たくさん動物好きの人に愛されて、各国で翻訳されている。

葉祥明先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年齢、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
〒939-0283
射水市鳥取50 射水市大島絵本館
あて先 葉祥明サイン本プレゼント係
締め切り 平成24年9月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。



『虹の橋』(佼成出版社)





西 小百合
射水市大島絵本館 企画係長

特集 / 手づくり絵本

手づくり絵本コンクール

射水市大島絵本館で数多く行われている事業の中で、とりわけ大きなものとして挙げられるのが「手づくり絵本コンクール」である。このコンクールは平成6年の絵本館開館を記念して行われたもので、「絵本の持つ可能性を基盤に、より多くの人々との心のふれあいを図り、豊かな心と夢をはぐくむ」という趣旨のもと、今年で19回目を数える息の長い事業となった。

賞の新設や名称の変更、募集部門の増設など試行錯誤の19年を経て、現在は応募対象が18歳以上の「おおしま国際手づくり絵本コンクール」と、18歳未満の「おおしま手づくり絵本コンクール」の2つの「手づくり絵本コンクール」を行っている。前者は国内外を問わず、例年約300点前後、後者は県内の園児や小中高生を中心に全国から約1000点の応募がある。

*

ところで「手づくり絵本」というどのようなものを思い描かれるだろうか？「手づくり」という言葉には素朴なイメージがあるが、近年絵本館に届く「手づくり絵本」は、実際に書店に並んでいても遜色がないようなものが多い。この傾向は各家庭にパソコンやプリン

ターが普及し、それらの性能が向上するにつれて顕著になってきたように思う。もちろん、当初主流を占めていた作者の息づかいが聞こえてきそうな手づくり感あふれる作品も変わらず多い。テキストは違えど、どちらも「手づくり絵本」であることは間違いない。

*

今年もゴールデンウィーク明けから「おおしま国際手づくり絵本コンクール2012」の募集がはじまり、2週間余りの間に例年並みの数の手づくり絵本が届いた。その一つ一つを開封し受付をしたが、封を開けた途端、強弱はあるけれどふっと匂うのはおそらく糊のにおいである。私にとってはこの匂いがまさに「手づくり絵本」の証である。手描きしたものをそのまま製本するにしても、パソコンで描いたものを印刷して製本するにしても、そこに人の「手」が介在することが伺えるからだ。

*

今年も間もなく審査を経て各賞が決定する。このコンクールを通して、人々に永く愛される定番絵本に連なる1冊、思わずだれかにすすめたくくなるような1冊が生まれることを願って止まない。

私のおすすめ絵本

『にんじんとごぼうとだいこん』

作／日本民話
絵／和歌山静子
鈴木出版



にんじんが赤いのなぜ？ごぼうが黒いの？だいこんが白いの？聞き覚えのある、ゆかいな日本の昔話。おじいちゃんおばあちゃんからお孫さんに読んであげてみてはいかがでしょう。

『はじめてのおつかい』

作／筒井頼子
絵／林 明子
福音館書店



読むたびに、はじめておつかいに行った時のドキドキした気持ちがよみがえります。そして、はじめてわが子をおつかいに出す親のドキドキも…。描き込まれた絵のすみずみまで楽しんでください。

『はらぺこあおむし』

作・絵／エリック・カール
訳／もりひさし
偕成社



世界的なロングセラー絵本。シンプルなストーリーと美しい色彩、穴あきのしかけがすべての子どもをとりこにします。いろいろなサイズやしかけ絵本バージョンもあります。



『リディアのガーデニング』

作／サラ・シュワート 絵／デイビッド・スモール
訳／福本友美子
アスラン書房

リディアが笑顔をもせないおじさんのためしたこととは…。



『いろいろいちご』

作・絵／山岡ひかる
くもん出版

貼り絵で表現された食べ物絵本シリーズの最新作はデザートづくし。あま〜い誘惑にうっとり。



『おかあさんの目』

作／あまみきこ 絵／くろいけん
あかね書房

せつこがおかあさん見つめ合うと、おかあさんの目の中に自分が、それから見たことのない景色が映りました。



『しあわせならてをたたこう』

作・絵／デビッド・A・カーター 訳／きたむらさお
大日本絵画

だれもが笑顔になるしかけ絵本。おなじみの歌に合わせて動物たちが動きます。